

# 重症心身障害児者施設における口腔ケアチームの運用に係る『口腔ケアコンサルテーションプログラム』の活用

びわこ学園医療福祉センター野洲

〒520-2321 滋賀県野洲市北櫻 978-2

## 助成事業の概要

重症心身障害児者は嚥下機能の低下により呼吸器感染を発症しやすく、状態が容易に悪化するといった特徴があります。誤嚥性肺炎の予防のためには、口の中を清潔に保つことが重要とされていますが、重症心身障害児者は開口が困難であったり歯磨きの拒否など、さまざまな要因で口の中の衛生状態が保ちにくい状況です。また、口の中の観察も難しく、強い痛みが原因で急に食欲が低下したり、機嫌が悪くなることで口の中のトラブルを発見することがあります。加えて、歯周病が進みやく歯が動揺したり抜けたりしやすいうえ、抜けた歯を誤飲する危険もあります。

当施設では口腔ケアの質を向上する目的で、2022 年の 4 月に口腔ケアチームを立ち上げ、現在も活動を継続しています。看護の視点を大切にしながら、より専門的に活動を推進するために、口腔ケアチームの支援実績があり、口腔ケアの専門家でもある施設外部の慢性看護専門看護師を招いて、看護師視点で実施する口腔ケアの指導を受けながら活動を進めています。今年度も口腔ケアを専門とする慢性看護専門看護師による 6 回の訪問を通して、施設全体の口腔ケアの向上に取り組みました。

## 事業の成果

当助成事業の活用を通しての口腔ケアチームの取り組みも、今年度で三年目となりました。

一年目と二年目は、実際に利用者さんのベッド

サイドを訪問し、口腔ケアを専門領域とする慢性疾患専門看護師に指導を受けながら、口の中の状態を評価して必要なケアにつなげられるよう取り組みを進めました。三年目となる本年も年度当初は今までも同様に、利用者さんの口の中の評価・アセスメントを行なっていました。しかし、今までの取り組みで得た知識や技術を、利用者さんのケアに繋がられていなかったため、まずは今まで習得した知識を職員に伝えることに重点をおきました。

具体的には、『口腔ケアに関する職員の意識を変える』ことを目標に、学習会を実施することにしました。学習会の内容としては、利用者さんを直接介助するために必要な基本的な知識を習得してもらうために、『重症心身障害児者の口腔内の特徴』で行いました。重症心身障害児者の口腔内の特徴として、う歯 / 歯周病 / 色素沈着 / 歯肉肥大 / 口内炎 / 口唇・頬粘膜の咬傷 / 歯ブラシによる擦過傷 / 咬耗症 / 摩耗症 / 歯の脱臼 / 萌出遅延 / 動揺について、今までのベッドサイドの訪問で得た実際の利用者さんのお口の中の状態も示しながら説明をしました。学習会参加者の感想は、「利用者さんの実際の写真を見て説明してくれたのでわかりやすかった」「具体的な事例があってわかりやすく知ることができた」「歯磨きが難しい利用者さんの歯磨き方法を知ることができた」などがあり、一般的な知識とともに、個別の利用者さんの特徴を伝えたことで、職員の理解を深められたと思いました。また、学習会に参加した職員の多くが、利用者さんの歯磨きを「もっと丁寧になりたい」「しっかりしたい」という感想を抱い

たことで、口腔ケアの大切さが伝わったと実感しています。個々の利用者さんの口の環境を整えるために、お口の中の評価・アセスメントから導き出される口腔ケアを提案していけるよう、今後も口腔ケアチームの活動を継続していきたいと思えます。

く、他の施設とも連携をとったり情報交換を行うことで、広く重症心身障害看護領域全体の口腔ケアの向上に寄与したいと考えています。

## 成果の広報・公表

当施設の組織は 3 つの病棟と各部門から構成しています。毎年 3 月には各病棟と部門から、一年の活動を報告する実践報告会を実施しており、口腔ケアチームでは重症心身障害看護師の活動報告として、当施設の職員を対象に口腔ケアチーム会の取り組みを書面で報告することができました。

## 今後の展開

口腔ケアチームは一回 2 時間の活動時間を確保することができています。介護福祉業界の職員状況はどこも厳しく、職員が直接介助から外れて活動を行うためには、所属長の理解を得るだけでなく、職員一人一人の理解と協力が欠かせません。職員の理解と協力を得るためには、口腔ケアチームの活動成果を示し、利用者や職員に必要とされる活動を展開しなければならないと考えています。

専門家のコンサルテーションの活用は今年度でいったん終了しますが、口腔ケアチームは今後も活動を継続します。今までの 3 年間は、主に自分達が教えてもらい、学ぶための取り組みを進めてきました。

しかし、今後は今まで学んだことを職員に伝えたり、利用者さんへのケアに還元するための取り組みを進め、利用者のより良い口腔環境の維持に努めたいと思えます。さらには、自施設だけでな